教育イノベーションプロジェクト 全体イメージ~教育による「始動人」の育成~

「始動人」が 県内外、世界 で活躍

「始動人輩出県」を目指す

始動人…自分の頭で考え、他人が動かない領域で動き出し、生き抜く力を持った人材

群馬で育った「始動人」が 次の「始動人」の育成に関わっていく

民間企

業等の

多様な

主体の

参画



「始動人のかけら」を育てる

誰もが「始動人」に なり得る

教育DXを基盤とした学校での新たな学び×各年代(就学前~社会人)に応じた多様な学びの機会を提供により、「始動人」となるための資質・能力を育成する

全庁で様々な分野の取組を展開

自分で考え動き出す

価値創造(想像)力育成

デジタルツールを 使いこなす

デジタル人材育成

多様な 能力を育成 世界に目を向ける

グローバル人材育成

学習指導要領を踏まえた教育課程の展開による「生きる力」 (「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」) の育成

教育DX



・小中高まで1人1台PCを整備

・緊急時における学びを保証するとともに、ICTを活用した新しい学びにより、 個別最適な学びを提供



- ・学校現場におけるICT活用に向けた 研修や授業モデルの展開
- ・教員の多忙化解消に向け、ICTを 活用した業務改善を実施し、児童生 徒と向き合う時間の確保



横(県内学校間)、縦(各教育段階)における教育データ(スタディ・ログ)の連携により、自らの学習や進路選択へ生かす

教育 基盤 整備

社会人~大学

高校~幼児教育

誰一人取り残さない学び

教育イノベーションプロジェクトの方向性





価値創造(想像)力育成

探究学習等の推進により、課題に立ち向かい、新たな価値を生み出す人材を育成

- 事業
 - ·STEAM教育推進〔知事戦略部·教育委員会〕
 - ・民間ノウハウを活用した選挙出前授業〔選挙管理委員会〕

デジタルツールを使いこなす



デジタル人材育成

デジタルツールの活用により、地域の課題解決に取り組む人材を育成

- 事業
- ・群馬デジタルイノベーションチャレンジ〔知事戦略部〕
- ・ぐんまのクリエイティブ拠点強化推進〔産業経済部〕

世界に目を向ける



グローバル人材育成

留学、海外研修のほか、ICTを活用した国際理解教育を推進

- 事業
- ・サマースクール〔知事戦略部〕
- ・ぐんまグローバル始動人テイクオフ〔知事戦略部〕

教育DX



DXを基盤とした新しい学びの確立

教育DXにより、個別最適な学びや協働的な学びを実現する学習環境を整備

- 争 業
- ・教育イノベーション推進体制構築〔教育委員会〕
- ・オンライン学習サポーター(仮)配置〔教育委員会〕

全ての人が活躍できる



誰一人取り残さない学び

学習者ニーズの多様化に対応し、全ての人が安心して教育を受けられる体制を整備



・ICT活用スキル向上PJ(特別支援学校ICT推進)〔教育委員会〕

目的

「群馬ならではの学び」の確立により、
群馬県を牽引していく「始動人」を輩出する

教育イノベーションプロジェクト



5つの柱(事業分類)により、

「教育基盤整備」と「多様な学びの機 会の提供」に向けた施策を展開する

OECDの社会情動的スキルに関する調査(SSES)

【群馬県が参加する理由】

新・群馬県総合計画のコンセプト「始動人」



他人が目指さない領域で動き出す人

変化の激しい時代の中、 学力だけではなく、 別の可能性・潜在力を、 どう評価し、伸ばしていくか OECD(経済協力開発機構)の教育改革



「社会情動的スキル」 (=非認知的能力、EQ)に着目

予測不可能な今日の世界に 対応するため、 認知的能力と社会情動的スキル をあわせ持つことが必要

合 致

OECDの社会情動的スキルに関する調査(SSES)

【群馬県が参加する理由】

SSESへの参加は、 群馬県の独自モデルの発信、 地方から国を変えていく取り組み のひとつとなる!

- ·群馬県が、日本から唯一、OECDの先端的な調査に参加
- ・国(文部科学省)と連携して、日本全体の教育イノベーションを牽引



GVISION2040

新·群馬県総合計画





OECDの社会情動的スキルに関する調査(SSES)

【SSESの概要】

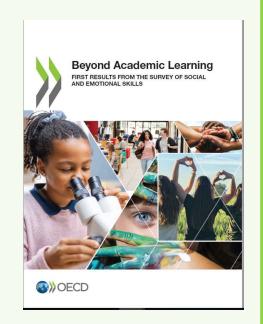
* SSES=Survey on Social and Emotional Skills

OECDが実施する

「社会情動的スキル」の形成を目的とした国際調査

口社会情動的スキル

「広い視野」 好奇心、創造力、・・・/「作業の能力」 責任感、粘り強さ、・・・ 「他者との交流」 社交性、情熱、・・・/ 「他者との協働」 共感力、信頼、・・・ 「情動の抑制」 ストレス耐性、楽観、・・・/ 目標達成の情熱など



【調査の実施内容】

対象: 15歳学生(高校1年生)、教師・校長 ◎スケジュール(暫定)

- •2022年•••9月 FT(実地試験) 15校
- ·2023年···4月 MS(本調査) 75校
- •2024年•••1月 国際報告書発表
- ・2024年・・・3月 テクニカル報告書発表

OECDマニュアルに準拠し、 調査実施

- ・運営事務局(実施体制)の設置
- ·NPM(プロジェクトマネージャー)の任命
- ・調査スタッフの任命及びトレーニング
- ・日本語マニュアルの作成
- •FT(実地試験)・MS(本調査)の完遂 等